



すずしろ

～開拓・発展・完成～

2月 第11号

平成31年2月4日

開進第四中学校だより

校長 児島 泰彦

2019年は、2月3日が節分、2月4日が立春です。節分とは現在では豆まきをして鬼を払い福を呼ぶ行事そのものを指しますが、元々は季節の区切りとされ、それを季節を分けるという意味で「節分」と呼んでいました。すなわち節分とは、春を迎える新しい一年の始まりの前に邪気を払うための行事であり、立春とは季節が冬から春になったその日を指すのです。人々が生活を営む上での一年の始まり「春」を良いスタートとしましょう。

＜朝礼の話＞

中学生の主張東京都大会 努力賞 「思いやりの連鎖」

都立桜修館中等教育学校 中学1年男子

先日、私の下校中の電車内で、印象的な出来事を目撃した。だから、鮮明に覚えている。私は座席に座っていた。すると、近くに大きなお腹をした妊婦さんが一人立っていた。妊婦さんが所持していたかばんについていた「お腹に赤ちゃんがいます」というマタニティーマークですぐに分かった。私は、妊婦さんに席を譲ってあげようかなと思った。しかし、譲る勇気をなかなか出せず、ためらっている内に座っていた男性が席を譲ってあげていた。私には、礼を言って席に座った妊婦さんが少し穏やかな表情になったように見えた。やはり、妊婦さんにとってずっと立っているのは、つらいことなのかなと思った。その分、妊婦さんに自分から譲れなかつたことにとても後悔した。もしかしたら、電車内で人に席を譲るなんて当たり前だと思うかもしれない。しかし、初対面でどのような反応をするか分からぬ人に思いやりをもって接することは、私にとって勇気のいることだった。行動が頭についていかなくなる。このように、誰でも心の中では、少しためらう気持ちが生じるのではないかと思う。

私は、その出来事がとても心残りだった。そのため、帰宅してから母にその出来事を話した。私が、次同じような出来事に出会ったら躊躇せずに行動に移したいと伝えた。すると、母は自身の思いやりについて話してくれた。母は、職場に向かう途中、駅のホームで赤ちゃんを抱いて多くの荷物をベビーカーに乗せた女性に遭遇したらしい。その駅には、エレベーターとエスカレーターがなかったため、階段を上がるときにベビーカーを運んであげたそうだ。すると、母は助けてあげた女性に感謝されたという。母によると、ベビーカーを運んであげたのは、自分が受けた親切につながっているらしい。私が、ベビーカーに乗っていた頃も、同じような思いやりに助けられたという。私が赤ちゃんだった12、3年前は階段しかない駅が現在以上に多かった。そのため、赤ちゃんである私との外出は不便だったらしい。駅のホームを行き交うほとんどの人が助けてくれなかつたが、その中でも助けてくれた人の思いやりは、今でも忘れられないという。私は、思いやりは、次の世代の人々にもつながっていくものなのだと改めて思った。

思いやりは、人に喜んでもらうためだけにしてあげるものではない。思いやりは、自分が受けた優しさを他人にも分けてあげるためのものであると思う。そのように、思いやりの連鎖をしていけば、みんながみんな明るくなるはずだ。私は、これからは自分もしてもらったからといった恩返しのつもりで人に思いやりをもって接することのできる人間になりたい。それは、社会全体としては、とても小さなことに過ぎないかもしれないが、そういった一人一人の意識が社会全体を明るく照らしていく。相手がどのような反応をするかなどは考えず、困っている人がいたら、優しく手をさしのべるようにすべきだ。もちろん、すべての人々がすぐに実行してくれるとは思っていない。ただ、少しでも人に思いやりをもち、連鎖が続いていると思う。今、そのような人だと感じていなくても、少し考え方を変えて行動してみる。その未来には互いに助け合いながら仲良く過ごす社会が、すぐそこまで迫ってきている。

【2年スキー移動教室】

2年生徒実行委員長

スキー移動教室の4日間は、私にとって心に残る4日間となりました。

スキー実習の初日は、スキーを一度しかやったことがなかったので怖かったのですが、インストラクターさんのおかげで、2日目・3日目と徐々に上達していき、最終日の午後には約1kmある第6ゲレンデを自由に滑れるまでになりました。スキーをやっている時の時間の流れは、とてもはやく感じました。

友達との集団生活では、協力して布団をたたんだり、時間を確認し合ったりすることができました。一番心配していたレクリエーションも案を出し合いなんとかやり切ることができたので良かったです。

今回のスキー教室を通して、私は感じたことがあります。それは、たくさんの人から力を借りているということです。バスガイドの方や宿舎の方など、そして一緒に過ごしてくれた友達など、たくさんの人から力を借りてこそ、充実した4日間を送ることができたと感じました。この感謝を忘れず、スキー移動教室で学んだことや感じたことを、今後の学校生活が充実したものにあるためのきっかけとして心に残しておきたいと思います。



【第10回中学生東京駅伝大会】

2月3日（日）東京駅伝大会が調布市にあるアミノバイタルフィールドと都立武蔵野の森公園で開催されました。都内の50地区の区市町村を代表する中学生が出場する「東京駅伝」大会です。今年で10回目を数え、男子は42.195kmを17名で、女子は30kmを16名でタスキをつなぎます。

本校から男子は5名、女子は7名が選抜され、男子3区・16区に、女子9区・12区・13区・14区・15区・16区に代表として激走しました。結果は、男子4位・女子9位・総合5位でした。大変多くの保護者の方々に応援していただきました。ありがとうございました。



部活動の大会等の結果

【生徒表彰】

平成30年度練馬区教育委員会児童・生徒表彰

3年男子 (陸上で優秀な成績)
2年女子 (陸上で優秀な成績)
2年女子 (歌唱で優秀な成績)

【吹奏楽部】

第52回東京都アンサンブルコンテスト A部門

銀賞
サックス3重奏「プリムラ」
1年3名



【バドミントン部】

平成30年度練馬区中学校バドミントン一年生大会

1年男子 (ブロック大会出場)
1年男子
1年男子ペア (ブロック大会出場)
1年女子
1年女子
1年女子ペア

男子シングルス 準優勝
ベスト16
男子ダブルス 第3位
ベスト8
女子シングルス ベスト8
ベスト16
女子ダブルス ベスト8

【連合ダンス】

第53回中学校連合ダンス発表会

優秀

1年A組女子 「club activity」